

教育環境分科会 2009 年度 第 2 回会合 プログラム

テーマ : 情報化に支えられた学習環境のもたらす教育効果

- 日 時 : 2009 年 11 月 25 日(水) 13:30 ~17:20 [13:00 受付開始]
- 会 場 : クラウンプラザホテル神戸 [神戸市中央区北野町 1 丁目]
- 参加対象 : 本会合は、SS 研, CS 研, IS 研会員の皆さまにご参加いただけます。
- 定 員 : 60 名(予定)
- 備 考 : 合同分科会(11 月 26 日~27 日)との連続開催となります。

■ ■ プログラム ■ ■ [敬称略]

開会挨拶	宇佐川 毅 (熊本大学)	13:30~13:35
合同分科会デモ展示内容ご説明		13:35~13:40
司会 未定		
(1) e ラーニングを介した高大連携の取組とリメディアル教育の実践 千歳科学技術大学 光科学部 小松川 浩		13:40~14:40 報告:50 分 Q&A:10 分
<p>我々は、理数系の学力補償という観点で、e ラーニングを活用したリメディアル教育プログラムの開発を高大連携の枠組みで行っている。高校側では、通常授業の他、不登校対策や中学との連携などで利用されている。大学では、入学前教育(遠隔型)や入学後の補習教育(対面との併用)、通常授業での宿題利用等で利用されている。最近では、大学と高校の単位認定科目の設置(高大接続の検証)・他大学との共同的取組の試行も実施している。</p> <p>Keyword: e ラーニング、高大連携、リメディアル教育、理数教育</p>		
(2) 医学系・歯学系共用試験発足の背景、その後の展開、および成果について 医療系大学間共用試験実施評価機構 仁田 善雄		14:40~15:40 報告:50 分 Q&A:10 分
<p>医学系、歯学系の大学が臨床実習開始前に行っている共用試験は知識を評価する CBT と技能・態度を評価する OSCE からなっている。モデルコアカリキュラムに基づいた出題がなされており、到達度評価として十分妥当性のある試験である。CBT はコンピュータの特性を利用して、診療の流れに沿った試験も行われており、これらの情報機器を用いた試験の効果について検討段階に入っている。</p> <p>Keyword: 共用試験 CBT、情報機器、臨床実習、妥当性</p>		
休憩 & デモ展示見学		15:40~16:10
司会 未定		
(3) インターンシップ受け入れ先の現状とその効果 富士通(株) 中央支社文教営業統括部 藤野 弘之		16:10~16:40 報告:20 分 Q&A:10 分
<p>富士通では、実際の現場に入り、現行のプロジェクトを体感できる「プロフェッショナルインターンシップ」を実施しており、これまで毎年 100 以上のテーマに 200 名ほどの学生を迎え入れ、就業体験の場を提供してきました。文教統括営業部においては、2006 年度から「文教市場向けソリューション拡販」というテーマで営業活動体験実習を実施しています。</p> <p>今回は、学生は実際にどのような活動を行い、そこから何を得ているか等のインターンシップの現状、ならびに、学生の質の変化、大学での教育が実社会にどのように役立っていると思われるかについて、受け入れ現場の立場から報告します。また、学生を評価する視点はどのようなものかについて、人事部門と現場部門の視点の違いを交えて報告します。さらに、学生の成長にとってインターンシップがどのような役割を果たしたかについて、インターンシップを経験後、富士通に入社した新人の声を紹介します。</p> <p>Keyword: キャリア教育、インターンシップ、富士通、営業活動、体験実習</p>		
(4) 産学連携による PBL 型の高度 ICT 人材育成の取り組み (株)FUJITSU ユニバーシティ 上野 新滋		16:40~17:10 報告:20 分 Q&A:10 分
<p>今後の IT 業界を牽引していく高度 ICT 人材の育成が急務となっており、国家の新たな IT 戦略「i-JAPAN 戦略 2015」でも重点政策として取り上げられている。また、日本経団連の産学連携人材育成活動においても、高度 ICT 人材育成重点拠点形成として、九州大学、筑波大学を重点拠点として産学連携人材育成支援を実施中である。(現在、NPO 高度情報通信人材育成支援センターにて推進中である。) 本講演では、高度人材育成において重要な育成方法となる PBL の具体的な実践例を取り上げて、今後、大学(院)において効果的な PBL を実現するための産学連携体制、PBL テーマなどのポイントについて発表する。</p> <p>Keyword: 産学連携、PBL、高度人材育成、情報通信、統合型教育</p>		
閉会挨拶	宇佐川 毅 (熊本大学)	17:10~17:20
懇談会 テーマ : 「学修時間の残り 30 時間をどう担保するか」 話題提供: ICT を用いた単位の実質化と質保証に向けた一試行 千歳科学技術大学 光科学部 小松川 浩		19:30~21:30

開催趣旨

近年、様々な場面で「高等教育の質の保証」というキーワードを目にする機会が多くなりました。この「高等教育の質の保証」を担保するため、多くの大学で、活発なFD活動や、より効果的・効率的な教育が提供できるよう教育情報環境の整備への取り組みが進んでいます。

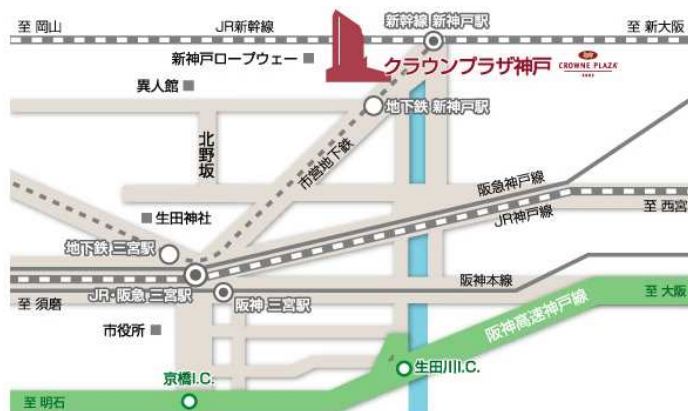
教育環境分科会では、第1回会合で教育情報基盤システムが提供する様々な教育サービスや教育ツールを活用した教育の効果を、どのようなICTツールをどのような教育手法を用いて出したのかを取り上げました。その上で、その教育効果と学生の成長をもたらすその仕組みについて、参加者の皆さまと以下の点に軸足を置いて、議論・検討したいと考え、「情報化に支えられた学習環境をもたらす教育効果」をテーマに、第2回会合を企画いたしました。

この企画では、

- ・ICT活用教育における現状・その課題、そして課題への取り組み
- ・ICT活用教育による学生の成長状況についての評価測定手法や、その結果
- ・技術面、組織運営面を含め、ICTでできること、できないこととは何か？

について、先駆的な取り組みをされている事例をご紹介いただき、参加者の皆さまと一緒に、「教育環境としてのありべき姿」、「大学組織としての取り組み」、そして「ICT活用の技術面・組織運営面での可能性」について議論を深めていければと、期待しております。皆さまの参加を心よりお待ちしております。

会場へのアクセス



クラウンプラザ神戸

●所在地：〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目 TEL:078-291-1121(代) FAX:078-291-1151

●アクセス：山陽新幹線・神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結 三宮(JR・阪神・阪急)より市営地下鉄でひと駅
 ※関西国際空港より三宮まで：空港リムジンバスで70分
 ※神戸空港より三宮までポートライナー18分

参加について

- ▶参加対象：SS研,CS研,IS研会員の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- ▶参加費：無料
- ▶定員：60名(予定)
- ▶服装：堅苦しくない雰囲気での議論ができるように、くつろいだ服装でご参加下さい。
 なお、当日お越しの際はお名刺をお持ちください。

お申し込み・詳細 (SS研ウェブサイト)

お申し込み/詳細

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/activity/sectionmeeting/edu/2009-2/program.html>

【お問い合わせ】SS研究会事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター 富士通(株)カスタマーリレーション部内
 TEL:03-6252-2582 FAX:03-6252-2934 URL:<http://www.sskn.gr.jp/> E-mail:sskn@sskn.gr.jp